

Crown English Communication I, p. 16–17.

Lesson 2**Going into Space**

When Koichi Wakata was five years old, Apollo 11 landed on the ⁽¹⁾moon. He dreamed of becoming an astronaut. Twenty-seven years later, he made his first trip into ⁽²⁾space.

—1

Every time I go into space, I discover my love for the earth. I have been in space on the International Space Station (ISS) three ⁽³⁾times. It goes around the earth 400 kilometers above us. It ⁽⁴⁾takes 90 minutes to fly around the earth. For 45 minutes ⁽⁵⁾you see the day view, and then in the next 45 minutes you see the night view. ⁽⁶⁾It is very dark at night. The stars are shining, and the Milky Way stretches ⁽⁷⁾on and on. Our blue planet Earth looks like an oasis in the vastness of space.

You can see images of the earth from space on TV and computers. But those images are very different from the real view of the earth from space. You can clearly see the oceans, the clouds, the mountains, and the rivers. You can even identify Japan by its shape. I feel so ⁽⁸⁾lucky to have a beautiful home planet.

Lesson 2—Lead

(1) moon 図 1, p. 1294.

moon ^{/mu:n/}
[→month]

— 図 (㊟ ~s /-z/) 1 ㊟ [[単数形で; 通例 the ~; 時に the M-]] (天体の) 月 (→lunar), 月面; ㊟ [[通例 the ~]] 月光, 月明かり (moonlight) (㊟ ㊟ は she, it で受ける) ▶ the light [surface] of the moon 月の光[表面]/landing on the moon 月面着陸/ The moon sets and the sun rises. 月が沈み, 太陽が昇る/the different phases of the moon 月の満ち欠けの位相.

- [[通例 the ~]] という用法指示から, the を伴って使われる名詞であることを確認させる。同ページの 5 行目にある earth, 11 行目にある Milky Way も特定された名詞のため, the を伴うことに言及できるとよい。
- 第 2 用例は動詞 land を名詞化しているが, 教科書本文とよく似た文であることに注意を促す。辞書の用例には典型的なコロケーション(よく使われる組み合わせ)が出ていることを認識させたい。

(2) space 図 4, p. 1894.

4 ㊟ (大気圏外の) 宇宙(空間) (outer space); [[形容詞的に]] 宇宙の ▶live in space 宇宙で生活をする/launch a satellite into space 衛星を宇宙に打ち上げる/a manned space program 有人宇宙計画.

- 「宇宙(空間)」を意味する space は不可算名詞であることを確認させる。さらに掘り下げて㊟㊟の違いに触れ, space が同ページ 4 行目(into space), 13 行目(of space), 14 行目(from space)と無冠詞・単数形で使われていることから, 不可算名詞の用法を理解させる。

Lesson 2—Section 1

(3) time 図 12, p. 2073.

12 ㊟ [[~s; 数詞を伴って]] …回[度]; [[単数形で; 序数詞を伴って]] …回[度](目) (↓ ㊟ ㊟ how many times ...) ▶I brush my teeth three times a day. 私は1日3回歯を磨きます/Pete won Wimbledon for the fifth time in six years. ビートは6年間で5度目のウィンブルドン優勝を飾った/for the first time since 1990 1990年以來初めて.

- [[~s; 数詞を伴って]]の用法指示に注目させて, times と複数形で数詞を伴う形の時に「…回, …度」の意味になることを指導する。
- 第 1 用例の three times a day (1 日に 3 回) という表現に気付かせると, 発信力アップにつながる。

(4) take ㊟㊟ 9, p. 2003.

【必要とする】9 ㊟(人が)㊟(時間)を要する, …がかかる; [[take (A) B] (事が) «…するのに» (A ㊟(人)には)B ㊟(時間)がかかる to do»; [[take A to do/doing] (人・事が) …するのに A ㊟(時間)がかかる; [[it takes (A) B to do] (A ㊟(人)が) …するのに B ㊟(時間)がかかる (㊟いづれも受け身にしない) ▶That could take (me) hours! それには(私は)数時間かかる/I took six months to write [writing] this novel. この小説を書くのに6か月かかった (㊟人が主語の場合, 主語の意図を暗示して「(時間)をかける」の意に近い)/That survey might take time to [complete [be completed]. その調査は完成するのにかなり時間がかかるかもしれない (㊟complete の場合 that survey はその目的語の関係にある)/It will take (us) at least an hour to get there. (我々が)そこに行くのに少なくとも1時間かかるだろう (㊟to 不定詞の意味上の主語を意識して for が用いられることがある: It will take at least an hour for us to get there.)/What took you so long? なぜそんなに長くかかったのですか (→long¹ 図 1)/I want to check it out. It won't take long. それを確かめたいのです, すぐに終わりますから (㊟take long は通例疑問文・否定文で用いる).

- 「時間がかかる」の take の用法を確認させる。人や事が主語になること, [[take A to do/doing]]の文型表示から「…するのに」という表現が to 不定詞になることや, 併せて it を主語にした形にも触れたい。

(5) you ㊟ 5, p. 2304.

5 ㊟(話/ややくだけた書) (一般に)人は(誰でも) (㊟総称用法; 話し手や相手を含めた一般の人々をさし, 訳さなくてもよいことが多い; →we ㊟ 2 語法) ▶You never can tell what's going to happen. 何が起きるかは誰にもわからない/You can't be happy if you're negative. マイナス思考だと幸せにはなれない.

- 聞き手(読み手)だけではなく, 人全般を表す you の用法を確認し, 訳さない方が自然であることを理解させる。「あなた方は昼間の景色が見えます」ではなく「昼間の景色が見えます」が自然な解釈。
- 同ページの 10, 14, 17, 19 行目にも同じ用法の you があることを発見させる。

(6) it ㊦ 7, p. 1074.

文法のポイント 非人称の it (impersonal it)
 天候・時間・距離などを表す文で主語の位置に使う it のこと。代名詞としての人称は三人称。
7 [[天候状態・日付・時間・距離・気温・明暗・音・干満潮などを述べる文の主語として] (㊦) しばしば be 動詞と共に用いる; 日本語には訳さない] ▶ *It's a rainy day today.* 今日雨降るだ/*It's my birthday tomorrow.* 明日は私の誕生日です/*It's been* (主に米) [*It's* (主に英)] *two years since I saw him last.* 彼を最後に見かけてから2年がたつ (= *Two years have passed since...*)/*It's time (that) you went to bed.* ≈ *It's time for you to go to bed.* 寝る時間だ (㊦ 仮定法を使った前者は寝るべき時間を過ぎてしまったことを暗示; 後者はちょうどその時間であることを暗示)/*It's nearly two thirty.* ほぼ2時半だ/*It's ten meters from my desk to the coffee machine.* 私の机からコーヒーの自動販売機まで10メートルだ/*It was very cold last night.* 昨夜はとても寒かった/*It feels hot in here.* この中は暑く感じる/*It is getting dark.* だんだん暗くなってきた/*It's so noisy [smoky] in here.* ここはすごくうるさい[煙たい]/*It's low tide right now.* ちょうど今干潮だ。

- **文法のポイント** や語義 **7** の㊦の注記から、天候状態などを表す it の用法を確認し、訳さなくてもいいことを理解させる。「それは夜は暗いです」ではなく「夜は暗いです」が自然。
- **dark** を使った終わりから 3 例目の用例と教科書本文とを比較させて、状態を表す *It is dark.* (暗い) と状態の変化を表す *It is getting dark.* (暗くなってきた) の違いに触れることも有効。

(7) on ㊦ 成句 on and on, p. 1400.

on and on 続けて、休まずに、どンドンと。

- **on and on** という成句が副詞の項目の最後から 2 番目にあるので、意味を確認させる。生徒の知っている **on** と **and** の意味を足しても「続けて」という成句の意味にはならないことに触れ、成句を辞書で調べる習慣を付けさせたい。
- また、「どンドン」という意味なので、前にある動詞 **stretch** (広がる, 続く) と相性がよいコロケーションであることに言及するのも良い。

(8) lucky ㊦ 1, p. 1202.

lucky ㊦ ^{/lʌki/} [-→luck]

— ㊦ (-ier; -iest/3 は比較なし) **1** «…の点で» 運がよい, 幸運な, ついで (fortunate) «in» (⇔unlucky); **[A is lucky to do/(that) 節]** A<人>が…する[だ]とは運がよい; **[A is lucky with B]** A<人>がB<物・事>に恵まれて運がよい; **[it is lucky (for A) (that) 節]** (行為を評価して)…とは(A<人>)は運がよい, (Aにとって)幸いにも… ▶ *I was a very lucky guy.* 僕はとてもついでだった/*Tom is lucky (enough) to be alive.* 生きているなんてトムは運がいい/*I am lucky (that) I never got (the) measles.* ≈ *It is lucky for me that I never got (the) measles.* 今まではしかかからなかったなんて運がいい (≈ *Luckily for me, I never got (the) measles.*) / *We have been lucky with the weather.* 私たちは天候にずっと恵まれている。

- よく使われる文構造なので [] を使って **[A is lucky to do/(that) 節]** と表示されていることに注意させる。訳語にも触れ、主語である A<人>が, **to** 不定詞の内容をすることが「運がいい」となるとして、意味と形を結び付けて指導する。よく似た第 2 用例を参照させて、**enough** を伴うことが多いことも付け加えたい。
- 文法項目(G-2)にある **to** 不定詞の用法のうち、「感情や反応の原因」を表す副詞的用法と連動させて指導すると効果的(p. 2083, to ㊦ 19 b)。

b [[感情・反応の原因] **[A is C to do]** A<人>は…してC<状態>である (㊦感情・反応を表す ㊦などと共に) ▶ *I'm very pleased to meet you.* お会いできてとてもうれしいです/*He was disappointed to find that the car was an expensive purchase.* その車は高価な買い物だと気づいて彼はがっかりした。

語法のポイント 私のネクタイを見て彼女は笑い出した。

× *She started laughing to see my tie.*

○ *She started laughing when she saw my tie.*

㊦ **to** は感情の原因は表せるが、行為の原因は表せない。

語法 ◀→㊦ **C** に現れる主な ㊦ ▶ **afraid, amazed, angry, anxious, astonished, delighted, dismayed, glad, happy, inclined, obliged, pleased, relieved, reluctant, sad, shocked, sorry, surprised** など (㊦ しばしば **to do** には **find, hear, learn, see** などを従えるが, **glad, happy, sad, sorry** は **inform, say, tell** などもしばしば従える)。

Crown English Communication I, p. 18.

— 2

Astronauts from different countries eat together every day. That gives us the chance to enjoy many different of space foods, but eating without the ⁽¹⁾help of gravity is a problem. When you eat *senbei*, you must be careful because it flies everywhere. When you ⁽²⁾eat soup, you must use a straw.

In space, you cannot take a bath; you simply wipe your body with a cloth. You sleep in your own room, but it is very small. ⁽³⁾All in all, life in space

Lesson 2—Section 2

(1) help 図 1, p. 949.

— 図 (他) ~s /-s/ 1 ㊦ «人からの/…についての» 援助, 助力, 手伝い, 助け (aid, assistance) «from/with» ▶ Thank you for your *help*. ご助力ありがとうございます/Can I give you some *help with* that? そのことで何かお手伝いできますか/**get** [**seek**] *help from* an expert 専門家から助力を得る[求める]/I would never have made it without your *help*. あなたの助けなしでは決して成功しなかったでしょう/He quit smoking *with the help* of his family. 彼は家族の協力でタバコをやめた/He did it for himself, with no *help from* anyone. 彼は誰からの助けも借りず1人でそれを行った.

- *help* の名詞用法を参照させる。教科書本文は *without the help of ...* (…の助けを借りずに)だが, 第4用例の *without one's help* (…の助けなしには)の形や, 第5用例の *with the help of ...* (…の助けがあって, …が協力して)といったよく似た表現があることに注意させる。
- また, 第1用例の *Thank you for your help.* について, コミュニケーションの際に多用される重要な慣用表現として復習させるのもよい。

(2) eat 動(他) 1a, p. 625.

eat ㄷ /i:t/ [元来は「固形物を細かくかみ砕いて食べる・飲み込む」; 「スープなどを飲む」の意は17世紀から]
 — 動 (~s /-ts/; **ate** /eit/et, ert/; ~en /it(ə)n/; ~ing)
 — ㊦ 1a <人・動物が><食べ物・餌などを>食べる; <人が><スープなどを>飲む; <人が><食事>をする[取る]; [~ A C] A <食べ物>をC<状態>で食べる ▶ What did you *eat* for breakfast? 朝食には何を食べましたか/*eat* soup スープを飲む (㊦ 皿からスプーンで飲むこと; カップに口を付けて飲む場合は *drink*, *sip* など)/Give me something to *eat*. 何か食べ物をください/*eat* breakfast [a balanced diet] 朝食[バランスの取れた食事]を取る/*eat* fish raw 魚を生で食べる/It is better to *eat little* and often. 食事は小食で何回もとる方がよい (㊦ ㊦ ㊦ 習慣をさす場合は *eat a little* より *eat (very) little* の方が普通).

- 教科書本文では目的語が *soup* であることを確認させる。一緒に用いられることの多い目的語(選択制限)を示す山形かっこ〈 〉に〈スープなど〉が来ると説明している㊦ 1aを参照させ, 訳語が「食べる」ではなく「飲む」となることを確かめさせる。
- 辞書の第2用例が *eat soup* と教科書本文と同じ句になっているので参照させる。用例訳に続く㊦の注記から「スプーンで飲む場合は *eat*, 口を付けて飲む場合は *drink*, *sip* など」になることに注意させる。

(3) all 代(成句) all in all, p. 57.

all in all (1) [文頭で] 全体的に見て, 概して ▶ But *all in all*, it was a good trip. でもおおむね楽しい旅行でした. (2) 全部で, 総計して. (3) 全面的に, 完全に. (4) 何よりも大切なもの, 最愛の人 ▶ You are my *all in all*. 君は僕にとってなくてはならない人だ.

- *all* には複数の品詞があることに注意させて, ここでは代名詞の成句にある *all in all* を参照させる。
- 教科書本文では文頭で用いられていることから成句義(1)に導き, 教科書のこの部分が「全体的に見れば, 宇宙での生活はとても快適だ」という意味になることを確かめさせる。

Crown English Communication I, p. 19.

is very comfortable.

We are very ⁽¹⁾busy with scientific experiments. However, we also have time for some other experiments. I tried arm wrestling with a Canadian astronaut. To our surprise, both our bodies started to spin around. In another experiment, I tried writing with a ⁽²⁾brush. I used too much ink, but it didn't drip. My favorite experiment was the "magic carpet." I put tape ⁽³⁾on my feet to stick to a carpet. It ⁽⁴⁾worked like magic. I was flying in space!

(1) busy ㊦ 1, p. 275.

bus·y¹ /bɪzi/ (㊦-u- は /i/) ㊦ 4 は Keenan & Riley, *Transmitted Word* (1893) から] (副) busily

— ㊦ (-ier; -iest) 1 a [be busy with A] 〈人が〉A 〈事〉に忙しい。A で手が離せない。A 〈人〉の対応に忙しい (㊦ 事には with の代わりに at, on, about が用いられることがある); [be busy doing] …するのに忙しい (㊦ be busy in doing は今は《まれ》) (occupied) (↔ free) ▶ *She's always busy [working [with work, at work].* 彼女はいつも仕事で忙しい (×... busy to work. としない) / *be busy with* [a customer [a full schedule] 客の対応に[予定がいっぱいで] 忙しい / a busy person 多忙な人 / I'm kind of busy [(right) now [(主に英) at the moment]. 今ちょっと手がふさがっています / I'm too busy to go out with her. 忙しくて彼女とデートができない / John keeps himself busy every day. ジョンは毎日多忙にしている / *I know you're busy, but* could I ask you a few questions? お忙しいでしょうか。2, 3 お尋ねしてよろしいでしょうか。

コミュニケーション

A: I need to talk to you. 話があるんだ。
B: Not now. **I'm busy.** 後でね、今手が離せないんだ。
㊦ 多忙で即座の対応を断る時の決まり文句。

- [be busy with A] の文型表示から、busy は 叙述用法でよく使われること、「〈人が〉A 〈事〉に忙しい」という記述から、主語は 人であって「…に[が, で]忙しい」の部分に with を使うことをしっかり理解させる。busy などの基本的な単語(活用語彙)については、発信活動(スピーキング・ライティング)に役立つ情報を辞書から引き出す習慣を付けさせたい。
- さらに、よく使われる文構造として [be busy doing] 「…するのに忙しい」という文型表示にも注意させたい。
- コミュニケーションにある会話の慣用表現 I'm busy. に触れるのも効果的。

(2) brush¹ ㊦ 1, p. 260.

brush¹ /brʌʃ/ [語源は「灌木(穀)」]

— ㊦ (㊦ ~es /-ɪz/) ㊦ 1 ブラシ, モップ; (整髪用の)ブラシ; (塗装用の)はけ; 化粧筆 (cosmetic brush); 絵筆 (paint brush); (筆記用の)筆 (writing brush) ▶ a shoe [toilet] brush 靴磨き[トイレ]用ブラシ / a soft [stiff] brush やわらかい[かたい]ブラシ / a scrub (bing) brush たわし / a dustpan and brush 卓上ちりとりブラシセット (㊦ a brush and dustpan の語順は《まれ》)。

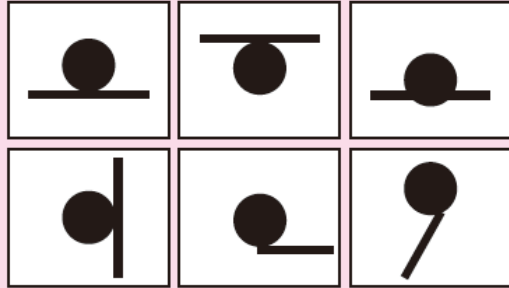
- 教科書本文では with a brush と不定冠詞がついていることから、名詞用法を参照させる。
- 教科書本文が動詞 write に続いていることから、「書く」という動詞の目的語となる brush の意味を調べさせ、語義 1 の「(筆記用の)筆」という訳語に導く。「ブラシ」を表す brush が「筆」の意味でも使えることを確かめさせる。

指導用資料

(3) on 概念図, 例 1a, p. 1398

on /ɑ:(n), ɔ:n|ɔn/

「…の表面に接して」(↓例 1, 例 5)の意が基本で, そこから「(接する)位置」(↓例 4, 5, 6), 「(接する)時間」(↓例 21, 22, 23), 「(接する内容から)関連」(↓例 14), 「(接着面を意味する)支え」(↓例 7, 8, 9, 10)の意味が生じた。



— 例 【接触・付着】 1a 【表面】 …の上に[て, の], …(の表面)に, …にくっついて (↔off; →above 例 1 類義) against 類義) ▶set the pillow on the bed ベッドの上に枕を置く/There's some ketchup on your tie. ネクタイに少しケチャップがついている/put a plate (down) on the table テーブルの上に皿を置く/lie on the floor 床の上に横たわる。

語法 on の示す基本的意味

on は「表面に接触している」が基本義だが, 「上に」乗っている場合だけでなく, 下面や垂直面, 物・人の一部に接している場合もさす ▶a cell phone on the desk 机の上の携帯電話/a mark on the ceiling 天井についているしみ/a sign on [×against] the wall 壁に貼ってある標示/a bandage on his knee 彼の膝に巻かれた包帯。

- 教科書本文の on my feet 「自分の足の裏[下]に」のように, on は常に「上に」になるわけではないので, on の持つイメージを確認させたい。概念図や「…の表面に接して」という解説から, 足の裏は下を向いているが, 面で接しているので on になることを理解させる。語法の記述や例文も理解の助けになる。

(4) work インデックス, 例 5, p. 2280.

work /wɜ:k/ (u-or- は /ɜ:r/) 【語源は「行う」】
((名) worker, workman, (形) working)

【SV(+)] 例 1 勤めている 2 働く 3 勉強する 4 機能する
5 効果がある
【SVO] 例 1 担当する 2 操作する 3 働かせる
【SVO(+)] 例 4 (状態にする) 5 徐々に[努力して]進む
【行動】 例 1, 3 仕事 5 勉強
【結果】 例 4 業績 6 作品
【場所】 例 2 職場

5 〈計画・手段・機構などが〉うまく働く, 効果がある; 〈薬などが〉効く ▶This drug worked best. この薬が最も効いた/The new system is working well. その新制度はうまく機能している/work like magic [a charm] まるで魔法のようによくいく/Revision of the rules will work in his favor. ルールの改正は彼にとって有利になるだろう/I guess that'll work. きっとそれでうまくいくよ。

- 重要な多義語に付いているインデックスを使って, 探している意味に素早くたどり着く方法を指導する。インデックス全体を見渡して work という語の全体像を把握させた後, 教科書本文中の「効果がある」を意味する自動詞用法は語義 5 であることを確認させ, その個所を参照させる。work は 2 ページ以上にわたる長い項目だが, インデックスを利用して辞書引きのスピードアップを図りたい。
- この意味の work は〈計画・手段・機構など〉が主語になることが, 山形かっこく を使って示されているので確認させる。教科書本文では若田さんの行った実験(it = my favorite experiment)が, 教科書下部欄外「20. work」で示されている例文では計画(your plan)が, 辞書の第 2 用例では制度(the new system)がそれぞれ主語となっていることに言及すると効果的。

Crown English Communication I, p. 20.

— 3

In 2013, I was on the ISS for my third time. I was asked to be the commander of the ISS. (1)As commander, my job was to see that we all lived in peace. There were astronauts from America, Russia, and Latvia. There was also Kirobo, the Japanese-speaking robot. We all had to work together, talk together, and live in a very crowded (2)space for 188 days. I had only one rule—we had to have dinner together as much as possible. It was an important time to feel (3)relaxed and to talk about the day's work and training.

Lesson 2—Section 3

(1) as ㊦ 1, p. 113.

— ㊦ (㊦ ㊦ の用法の一部とも考えられる)

1 ㊦ 機能 (役割・職業に注目して) …として ▶ Thousands of people die each year as a result of air pollution. 大気汚染の結果、何千という人が毎年死んでいる/use the drum as a means of communication 太鼓を情報伝達的手段として使う/They see [think of] us as a threat. 彼らは我々を脅威と考えている/She worked as an actress but not as a comedian. 彼女が働いていたのは女優としてであって、コメディアンとしてではない/get a job as a teacher 教師の仕事に就く (㊦ このほか start [begin] one's career as a teacher (教師として職歴をスタートさせる) という言い方もある)/I spoke as (the) chairman [as a member of the club]. 私は議長として[クラブの一員として]発言した (㊦ の後では唯一の役割を表す the がしばしば省略される; 唯一の役割でないときは a [an] を用い、冠詞が省略されることもある).

- 教科書本文が as commander という句になっており、名詞 commander に先行していることから前置詞用法を参照させる。
- 教科書本文の前の文で、若田さんが国際宇宙ステーションの the commander (コマンダー・船長・指揮官) という職に就くよう依頼されたことを確認させ、「役割・職業に注目して」という補足説明のある語義 1 に導く。
- 辞書の最終用例を参照させて、ここでは「コマンダーとして」という意味になることを確認させる。さらに用例の(the)という表記は、the を省略することができることを示しているのに注意させる。用例訳に続く ㊦ の注記をチェックさせて、唯一の役割であるコマンダーを示す教科書本文では the が省略された形になっていることを確認させる。

(2) space ㊦ 1a, p. 1894.

space ㊦ /speɪs/ [原義は 6]
(形) spacious

— ㊦ (㊦ ~s /-ɪz/) 1 ㊦ ㊦ a «…のための/…するための» 場所, スペース, 空間 (→ place ㊦ ㊦) «for/to do»; 広々としていること; ㊦ ㊦ (記憶装置などの) 空き(容量) ▶ make [leave] enough space for a printer プリンタを置く十分なスペースを作る[空けておく]/take up too much space 場所を取りすぎる/Have you got space for one more in your car? 君の車にはもう1人乗れるスペースがありますか/(an) empty space 空所, 空いたスペース/a sense of space 広々とした感じ.

- 教科書本文では a very crowded space と不定冠詞と共に用いられていることから加算用法であることを確認させ、ここでは不加算用法の語義 4 「宇宙」ではないことに注意させる。
4 ㊦ (大気圏外の) 宇宙(空間) (outer space); ㊦ 形容詞的に ㊦ 宇宙の ▶ live in space 宇宙で生活をする/launch a satellite into space 衛星を宇宙に打ち上げる/a manned space program 有人宇宙計画.
- 教科書本文が live in a very crowded space となっており、「(宇宙ステーションという) とても込みあつた空間の中で生活する」という意味が文脈にあっていることから語義 1a を参照させる。語義番号に続く ㊦ ㊦ というロゴから、この意味では「宇宙」とは違って加算用法もあることに注意させる。

(3) relaxed 図 1, p. 1657.

re-laxed* /ri:lækst/ [→relax]

— 図 (more ~; most ~) 1 (人・表情などが) **くつろいで**, リラックスして; «…について» 楽観して «about» ▶ feel relaxed and happy のんびりと幸せを感じる。
 2 (場所などが) **ほのぼのと**した, 打ち解けた ▶ in a relaxed atmosphere [setting] くつろいだ雰囲気の中で。
 3 (態度などが) **ざっくばらんな**; (方法などが) 厳格さに欠けた ▶ relaxed rules 緩やかな規則。4 (筋肉が) 弛緩(ゆる)した。

- ・ 教科書本文の feel relaxed という句が用例になっていることから語義 1 に導く。
- ・ relaxed により修飾される典型的な名詞を表す山形かっこ () の中に、「人・表情など」と記されていることを確認させる。教科書本文では宇宙ステーションの仲間が「リラックスする, くつろぎを感じる, のんびりした気持ちになる」という意味になることを確かめさせる。
- ・ 見出し語・発音記号に続く【→relax】という語源欄の記述から, relaxed という形容詞は relax から派生していることがわかるので, 辞書の見開きページにある relax を参照させ, relax は「リラックスさせる」「リラックスする」という動詞であることを確認させる。

re-lax* /ri:læks/ [re (元に) lax (緩める)]
 ((名) relaxation, (形) relaxed)

— 動 (～es /-iz/; ～ed /-t/; ～ing)

- 自 1 (人が) (悩むのをやめて) **くつろぐ**, 休む, リラックスする ▶ What do you do to relax? 緊張をほぐすのいつもどうしていますか/Just relax and enjoy yourself. 気持ちを楽にして楽しんでください。
 2 (緊張していた) (体の一部)などが **ほぐれる**, 落ち着く, 安堵(あず)する ▶ Her face [features] relaxed. 彼女はほっとした表情を浮かべた。
 3 (規則・規制などが) 緩む, 緩和される。
 — 他 1 (人・物・事が) (人) **をくつろがせる**, リラックスさせる ▶ What sound relaxes you most? どんな音を聞くといちばん落ち着きますか。
 2 (人が) (体の一部など) **をほぐす**, 緩める, 落ち着かせる ▶ Relax the muscles of your shoulders. 肩の筋肉をほぐしなさい/Ted relaxed his grip [hold] on the rope. テッドはロープを握っていた手を緩めた。
 3 (人が) (規則・規制などを) 緩和する。4 (人などが) (警戒・集中などを) 緩める。5 (薬品で) (髪)をストレートにする。

- ・ 紙の辞書ならほかの関連語も見開きページにあるのでチェックさせやすい。動詞 relax だけでなく名詞の relaxation や, ～ing 形の分詞形容詞である relaxing との違いも確かめさせるとよい。

re-lax-a-tion* 図活 /ri:lækséif(ə)n/ [→relax]

— 図 (他) (～s /-z/) 1 図 [具体例では a(...) ~] (心身の) 息抜き, 休息, 休養, リラクゼーション; (筋肉の) 弛緩(ゆる) ▶ for relaxation 気晴らしに/Gardening is my favorite kind of relaxation. ガーデニングは私の大好きな息抜きです/relaxation music [therapy] ほっとする音楽[リラックス療法]。2 図 [C] «規則・規制などの» 緩和; «罰などの» 軽減 «of, in» ▶ (a) relaxation in the law 法律の緩和。3 図 [物理] 緩和; [数] 緩和法。

re-lax-ing* 図 (時間・活動などが) くつろがせる, ほっとさせる ▶ a relaxing weekend [stroll] のんびりとした週末[散歩]。

Crown English Communication I, p. 21.

One final word. Going into space is a frightening experience. There are many dangers. You may wonder why I go into space? I do it because it is a challenge and because it is important for ⁽¹⁾humanity. Astronauts from around the world are working together. Through this experience, I have ⁽²⁾come to believe in our common humanity as citizens of the earth. Remember that ⁽³⁾each one of us is a crew member of Spaceship Earth.

(1) humanity 図 1, 2, p. 992.

hu-man-i-ty* /hjumænəti/ (強勢は第2音節) [→human]

① 図 (② -ties /-z/) 1 ④ 〔集合的に; 単複両扱い〕 人類 (→ mankind) (×the humanity としない); 人間 ▶ crimes against humanity 人道に対する罪。

2 ④ 人間であること; 人間性; [-ties] 人間の属性 ▶ our common humanity 私たちに共通の人間性。

- ・ 「人類」を表す humanity は④であることに注意させたい。類義語である human が同じページにあるので比較させて、human は④であること、生物としての「人、人間」を表すこと、形容詞として使われることなどに気付かせるとよい。
- ・ さらに、教科書本文 19 行目の humanity は語義 2 になることにも触れたい。用例として教科書本文と同じ our common humanity が出ているので、意味を発見させやすい。

(2) come 動⑩ 13, p. 391.

13 [come to do] (目的を表す用法については ↑⑩ 1b) a (一定期間の経験から) … するようになる ▶ I came to [×became to] know her and to love her. 彼女を知りようになりそして愛するようになった (「知るようになる」過程を暗示せず単に「顔見知りになる」きっかけをいう場合は come to do は不適: I first met [×I came to know] Richard at a bookstore. リチャードとはある本屋で出会った) / They'll come to understand that we're all God's creation. 彼らは我々が皆神の創造物であるということがわかってくるであろう。

語法 (1) know, understand, believe, realize, expect, accept, think, mean, love, appreciate, feel, see, regret, respect, cherish など認識・精神状態・態度を表す動を従える。動作動詞 (→ can¹ 1a (文法)) を用いると目的の意味に解される恐れがあり、避けた方がよい。

(2) be 動詞が続く場合は、単に be か become を用いる方が普通。肉体的・精神的状態には get を用いる ▶ Later he was [became, ×came to be] a famous actor. 後に彼は有名な俳優になった / get [×come to be] tired 疲れてくる。

(3) 「(だんだん) … するようになる」には get to do, 「(学習して) … するようになる」には learn to do, 「(成長して) … するようになる」には grow to do が用いられる。

- ・ 数多い項目の中から、[come to do]の文型表示を手掛かりに語義 13 を参照させる。「(一定期間の経験から) … するようになる」ことを意味し、教科書本文の内容である「宇宙旅行の経験から、人類共通の人間性の価値を信じるようになった」という背景と合致していることを確認させたい。
- ・ 発信活動の際に become to do を使う生徒が多いため、第1用例の非文情報 [×became to] に注意を促したい。
- ・ さらに語法 (3) の類似表現に触れることも発信活動に役立つ。

(3) each 図, p. 617.

① 図 (比較なし) 〔単数名詞の前で〕 (2者以上の人・物のうち) それぞれの, めいめい [おのおの], 各… ▶ About 100 children die from the disease each year. 約100人の子供たちが毎年この病気で死んでいる (② ③-④) (1) 時を表す year, day, week, month, morning, night などの 図 と共にしばしば副詞的に用いられる。(2) (書) で好まれる / We did it three times, and each time was different. 我々はそれを3度やったが毎回違っていた / Each one of us is [(くだけて) are] a fan of the band. 我々一人ひとりがそのバンドのファンです (② ③ 特に個別性を強調して用いる; ③-④) ④ を用いた each of us の形の方が一般的 / on each side of the card カードの(裏表)それぞれの面に (② ③ 両面を同時にさす場合は on both sides of ...) / The knowledge must be passed on to each new generation. その知識は新しい世代に次々と伝えられなければならない / Each student has something to say. どの生徒にもそれぞれ言い分がある (② (1) × Each student(s) have ... としない (↓ 語法 (1)). (2) Each individual student ... は特に個別性を強調)。

語法 (1) 数の扱い each + ④ は原則として単数扱い。④ が2つ以上続く場合も、通例 ④ は単数呼応する ▶ Each boy and girl wears [×wears] the school uniform. 男の子も女の子もそれぞれ制服を着用する。

(2) ④ の呼応 each や every が性別不特定の人をさす場合、呼応する ④ としてかつては he, he or she, (まれ) she or he, s/he, she/he などが用いられたが、(くだけて) や (報道) では、複数形の they を用いるのが一般的 ▶ Each candidate should be given a chance to explain their [his or her, (やや古) his] idea. どの候補者もそれぞれ、自分の考えを説明する機会が与えられるべきだ (= (報道) All the candidates ... their ideas).

(3) 否定文と each each は否定語と一緒に使用せず、neither や no one, none を用いる ▶ Neither answer [None of the answers] was correct. どちらの解答も正しくなかった (× Each answer was not correct. としない)。

- ・ 〔単数名詞の前で〕という用法指示を確認させる。第3用例 each one of us は教科書本文と同じ句であり、② の注記にある「特に個別性を強調」した定型表現として理解させたい。
- ・ さらに教科書本文や語法 (1) も参考にして、動詞の一致は単数扱いであることに注意させることが重要。